

# HO YOG

教区新報



198 RENNHO-SHONIN  
BIG FESTA 500

1996. 9. 105号

発行所 浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949代  
〔編集〕教区基推委広報部



各寺仏婦の会長さんたち

## 仏婦単位会長が一堂に 研修会 初の試みに400人

八月六日、今回初めての試みである仏婦単位会長研修会が、神戸別院を会場に開催され、登録五百三十二単位中の会長四百人が参加した。

開会式では木村久子仏婦連盟委員長より、震災支援の協力や別院・センター協賛懇志のお礼を含めてのあいさつがあり、今後も支援活動や法話会の実施を継続していきたく述べた。記念講演では、仏婦連盟講師の清岡隆文師(大阪教区島下組大光寺)から「お念仏がひろがるために」と題して講演があった。清岡師は「近年、高齢者の宗教心が薄くなり、若い者を正しく導いてあげることができていない。今私たちが一人ひとりが念仏者としての姿勢が問われている」と提起し、仏婦活動推進において、八項目をあげて常に点検して頂きたいとした。午後からは、讃歌指導として釋氏清子さん(阪神西組源光寺)と赤松君香さん(網干組政源寺)の指導で「新真宗音頭」の歌と踊りを練習した。また、パネラー発表では、蔵本悦子さん(阪神北組源

宗寺仏婦)「私の仏婦活動」宮前とし子さん(淡路組萬行寺仏婦)「仏婦活動あれこれ」上田美津留さん(神姫組専光寺仏婦)「私のダイナ活動」新屋房子さん(加古川組宣能寺仏婦)「同期運動に思うこと」出田麗子さん(揖電西組一行寺仏婦)「門信徒の中の仏婦の役割」として五人から活動内容についての発表があった。質疑では婦人会と若婦人との悩みや、喜んで足を運べる寺が少ないとか住職に對する不信感といった厳しい意見もだされた。これを受けて講師より助言があり、最後に二十世紀をまとめると光と影であるとし、「光とは科学技術の長足の進歩によって多くの恩恵を受けた。影とは戦争が一番多かった一世紀であること。光と影は阿弥陀さまの真実の光明の中で知らされる私の姿。賢くなっていることを喜ぶのではなく、自らの煩惱によってお互いが傷つけ合い、足を引っ張り合い、苦しみ合っている姿が明らかになる。お念仏させていただく私が本願のおこころをいただき、ともに手を取り合って歩んでいくかが問われている」と結んだ。(森川浩乘)



言葉の乱れが言われて久しい。TVの取材番組はひどいもので、敬語と丁寧語を誤って使っても平気で、言葉知らず丸出しもある。滑稽なのは「挙手を挙げ」の類い。話す、書くは表現の違いはあるが相手方に伝えることは同じだ。何れにしても言葉を知らないと恥ずかしい思いをすることになる。◆「しっかりと文章を書け」と言うのが先代の口癖で、それが通り一遍の案内状でも、目的に合う書式と心得を要求したものだ。文章は話すのと違い、人目に付けば相手方に残る。また人格まで見られてしまうものと同様だった。◆書くことはごまかしがきかない。小説は別として誠意と意図が伝わるのが大切。感動や共感の相手方が示すもの。書かれた時が古くても「白骨草」が今に共感されかつ名文として生き続けているように◆ワープロで文章が書き易い今、先代の口癖がたまたまなく懐かしく、有り難い。しっかりと書けないが言葉

教区だより		9・10月	
16日(月)	仏徒連盟常任理事会	10時半	
	仏徒連盟理事会	1時	
17日(火)	企画常任委員会	3時	
18日(水)	門徒総代会姫路ブロック研修会	姫路中組光源寺	
	千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要	国立千鳥ヶ淵墓苑	
19日(木)	法要広報部会	10時半	
22日(日)~24日(火)	別院秋季彼岸会	坂脇賢正師	1時半
25日(水)	組長会	10時半	
26日(木)	布教団若手役員会	2時	
26日(木)~27日(金)	教区連研履修者研修会	別院	
27日(金)	門徒総代会東播ブロック研修会	多可組浄福寺	5時
	龍谷大学入試説明会		

28日(土)	仏婦第9回若婦人の集い	12時半	
30日(月)	門徒総代会西播ブロック研修会	赤穂南組永応寺	
10月2日(水)	門徒総代会丹波ブロック研修会	水上東組西福寺	
2日(水)~3日(木)	近畿ブロック議員研修会	津村別院	
3日(木)	門徒総代会但馬ブロック研修会	豊岡教堂	
5日(土)	第一土曜仏教講座	生駒孝彰師	1時半
5日(土)~7日(月)	若婦人中央研修会	本山	
9日(水)	近畿寺婦研修会	奈良文化会館	
12日(土)~13日(日)	全国仏徒東京大会参加の旅		
14日(月)	別院永代経開闢法要		1時半
15日(火)~16日(水)	別院常例法座	谷川弘顕師	1時半
18日(金)~20日(日)	別院・センター完成記念慶讃御親修法要		

### 総務に九折舜壽師

八月二十六日付け本山総務の就任の人事があり、伊井智昭師、豊原大成師、松本隆照師、出口湛龍師の四師が退任し、新たに青地敬水師、北島経昭師、九折舜壽師、沖井道雄師の四師が総務に就任。(桑原範雄師は留任) 教区選出宗会議員の九折舜壽師(揖電西組正専寺)は二回目の総務に就任した。九折総務の所管は学事部、組織文化部、研修部、「遠忌」関係では人材育成対策事務所。

### 阪神・淡路大震災義援金

阪神・淡路大震災義援金の教務所へ届けられたもの(7月1日から8月31日まで)を掲載させて頂き紙面をかりて厚く御礼申し上げます。尚、8月31日現在義援金総額九億六百五十一万六千三百九十九円をお寄せ頂いております。▽大阪教区島下組大光寺清岡隆文八万円▽龍谷大学教授林智康二万円▽滋賀教区赤野井別院仏徒三万円(受付順・敬称略)

### 宗務基本調査に協力を

第七回宗務基本調査の実施について、七月末までの締切りでお願いいたしておりましたが、八月三日現在兵庫教区におきましては、約48%の回収率となっております。つきましては、返送締切りは過ぎましたが、宗門の貴重な調査であり、来るべき二十一世紀への宗門発展に資する計画策定のためにも、より精度の高い情報を期待しておりますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

### 新職員に黒田正宣師 勝島師は非常勤に

九月一日付け人事で、黒田正宣(くるだ・しょうせん)師が本願寺神戸別院参勤、兵庫教区教務所主事として入所。黒田師は昭和三十一年生まれ。同五十六年に宗務所入所。同六十三年には本願寺副館別院に転勤。函館別院副館番を歴任。八月三十一日をもって同別院を退職。所属は兵庫教区神明組万宣寺。



なお、勝島徹正神戸別院参勤・教務所参事が九月一日付けで非常勤となりました。建設懇志進納総額 二十二億三百九十三万八千五百四十六円(94%) (96年8月31日現在)

### 10月30日(水) 震災支援・別院完成記念 「元気!はばたけ仏の子」を開催

教区保育連盟と災害対策現地本部では、別院の完成を機縁に震災により被災した幼稚園、保育園の園児を招待して境内に元気な明るい声を響かせ、仏の子どもの輪を広げるとい主旨のもと、十月三十日(水)午前十時より午後一時まで別院で子どもを集いを開催する運びとなった。この度の震災では、阪神間の十三園が被災し、内一園が全壊、十二園も相当の被害を受け、園児三人が亡くなった。災害対策現地本部では、震災後復興支援活動を行ってきたが、今回もその一環として開催される。

た幼稚園、保育園の園児を招待して境内に元気な明るい声を響かせ、仏の子どもの輪を広げるとい主旨のもと、十月三十日(水)午前十時より午後一時まで別院で子どもを集いを開催する運びとなった。この度の震災では、阪神間の十三園が被災し、内一園が全壊、十二園も相当の被害を受け、園児三人が亡くなった。災害対策現地本部では、震災後復興支援活動を行ってきたが、今回もその一環として開催される。

### 敬 弔

榎原千代子さん(たなはら・ちよこ)神姫組光輪寺前坊守)八月四日、九十三才で往生。葬儀は八月六日、光輪寺で。「弘誓院釋尼恵日」。

# 坊守の震災体験

## 寺婦研修で4人が発表

兵庫教区寺婦婦人研修会を八月一日に別院、二日に出石組正福寺を会場として開催し、教区内から二日間約二百人の寺婦婦人が参加した。

開会式では辻岡武子委員長が、震災支援や別院・センター懇志のお礼を述べ、今度の完成記念法要への協力を呼びかけた。

午前には動式・作法指導として、教区動式指導員である光森龍樹師(神明組安養寺)から、聖人一流草や白骨章など昨年の八月より変更された御文章の唱読や、



講師と4人のパネラー (右から発表者順)

正信偈や服制規程など幅広く学んだ。

午後からの講演には龍谷大学教授の福岡光超師(安芸教区高田東組正善寺)が「蓮如上人に学ぶ」をテーマに講演された。

また、パネラー発表として、阪神・淡路大震災で被災された体験を杉本雅代さん(神戸東組照善寺)・広岡智賀子さん(神戸中組徳照寺)、またボランティア活動の体験を辻野静代さん(淡路組専修寺)・清水ゆきさん(赤穂北組明福寺)から発表があった。

杉本さんは本堂・庫裏など全てが全壊となり、爆破されたような庫裏の下敷きとなった壮絶な体験や、震災から一年半余を振り返り、生かされていることの喜びを語った。

広岡さんは震災から一年半余を回想され、寺院復興の毎日であるが、蓮如上人の姿に学び、理屈ぬきの行動力をもって、ご門徒とともに手を取りあつて歩んできたいと述べた。

辻野さんは寺婦、仏婦からの炊きだしや救援物資の報告。津名町救援レディース連絡会として活動していることを報告し、独居老人や孤児となった子供達に何とか援助の手を全国の寺婦へと広がるよう「仏の子育てる寺婦よ強くあれ」と結んだ。

清水さんはボランティアの経過報告として、辻岡武子委員長を中心とした炊きだしがたくさんの方々の協力によって成しえたことを述べ、行動ある聞法者となり、次のボランティア活動を考えなくてはと語った。

# 本堂でギターコンサート

## HO日誌

◆8月1日 寺族婦人研修会を別院で(二面に別記)

◆第五回糾弾会が本山で。土基教務所長、近藤教区相談員、久堀基推副会長が出席◆1日 3日 暁天講座を別院で。晨朝引き続き法話。講師は寺本峰昭師(神崎組真楽寺)「南無阿弥陀仏の体」高崎長英師(北摂組正光寺)「私にとって正しい宗教観とは何か」暉峻隆渉師(高砂組西秀寺)「弥陀成仏のこのかたは」



別院本堂にギターの音色

◆1日 4日 第四十四回仏教保育大学講座が京都で◆2日 寺族婦人研修会を出石組正福寺で◆第一土曜仏教講座を別院で。講師は安藤龍昭師(東海教区桑名組安養寺)テーマは「人間の真相と仏」◆4日 第三連区門徒総代研修会が本山で◆クラシックギターコンサートが別院の本堂で。大分教区耶馬溪組雲西寺の寺族で早稲田太志ギタースタディ代表の紅樫聖さんが同クラブの創設三十周年を機に、神戸で震災遺児の支援を目的にチャリティーコンサ-

トを行なおうと部員に提案。五月に神戸大学、龍谷大学のクラシックギター部に呼びかけ、初の合同コンサートとなった。前日に神戸入りした学生は中央、兵庫、長田区を中心に仮設住宅を訪問し、ビラを配布。当日は約八十人が入場し、各大学ごとに重奏や独奏など十数曲を披露した。最後に紅樫さんが「禁じられた遊び」で締めくくり、「私たちの演奏をぜひ神戸の人たちに聞いてもらい、学生のエネルギーを感じてほしい。ステージと客席の壁を取り除き演奏者と観客との一体感を味わうには寺院が一番の場所。これからも感動を呼ぶ演奏を続けていきたい」と語った◆5日 7日 岐阜教区少年連盟招待サマースクールが岐阜別院を中心に。兵庫より十八人が参加。一日は三重県阿山町の「モクモク手作りファーム」ソング作りで挑戦◆6日 11日 仏婦単位会会長研修会を別院で(二面に別記)◆都市開教推進部会を別院で。部長に光森宣明師(北摂組正覚寺)が再任◆6日 17

## 組相談員一泊研修会

### 「組活動活性化のために」

#### 山内研修部長が講義

今年度から初めての試みで、組相談員一泊研修会が八月二十三日から二十四日にわたり別院で開催され、

三十九組の相談員のうち二十一人が参加した。事務連絡のあと、現状報告が近藤教区相談員よりあり、平成七年度の組基推委アンケート報告書からとして報告された。

続いて本山研修部長の山内教諭師(東海教区員弁組西念寺)より研修テーマと同じ「これからの組活動を活性化していくために」として講義があった。

まず、組相談員の立場の明確化として、「組活動のなかでみ教えをいかに伝えていくのか。役割は組基推委の組織の中で連携をとる」と述べた。

また、同朋運動の取り組みについても述べ、二時間の講義を終え、質疑応答があつて一日目の研修を終えた。

二日目は組活動における諸問題を協議し、講師より全体を振り返ってまとめの講義があり、研修会を閉じた。

## 法要ポスター!パンフ:案内状

### 教区内全寺院へ

十月十八日から二十日まで三日間営まれる本願寺神戸別院・兵庫教区教化センター完成記念慶讃御親修法要のポスターと広報パンフレットが先頃作成され、八月二十三日付けで組長事務所へ送付された。ポスターは各寺一枚、パンフレットは届出門徒戸数×戸数となっている。また、ご案内については八月二十五日付、各寺へご住職宛と門信徒宛として送付された。



東南角に掲げた懸垂幕

日 青少年国際研修団◆近畿ブロック寺婦研修会打合せ会が奈良教堂で◆7日 園長主任研修会打合せ会を宝国幼稚園で◆8日 近畿ブロック寺族婦人研修会にかかる連絡協議会が奈良教堂で◆9日 元氣!はばたけ仏の子の集い実行委員会を別院で◆11日 15日 別院盆参り。土基輪番をはじめ全職員が門徒さん宅へお参り◆13日 本願寺神戸別院・兵庫教区教化センター完成記念慶讃御親修法要の懸垂幕が別院南東角の壁面に設置される◆16日 20日 別院・教務所職員夏季休暇◆19日 近畿地区仏婦大会打合せ会が驚森別院で◆19日 21日 大阪教区少年連盟招待サマースクールが淡

## ご注意

最近、各地において電話販売が活発に行われております。こうした中で同和関係書籍販売も行われているようですが、あまりにも高額なために「ハッキリとした返事をしなかつたら、七万円という本が送られてきて困っている」というトラブルが他教区等から報告が相次いで出されているようです。皆様にもこうしたトラブルに巻き込まれないように十分に注意下さい。

# 法要の懸垂幕を設置